

2010年4月16日、馬車でアメリエンボーを出発する女王陛下・王配殿下

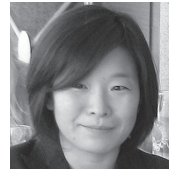
デンマーク王国 DATA

人口551万人(≒北海道)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「国際競争力5位(WEF)」「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。



当会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。

Tillyke, Daisy! ——王室と国民の距離



樋口 麻紀子

在デンマーク日本大使館一等書記官
(経済同友会事務局より出向中)

「 Hitchハイクをしていた若者が、立派な紳士の車に乗せてもらった。紳士は話し好きで、若者は問われるままデンマークのここが良くない、あれが問題だと自分の考えを述べた。若者が目的地で降りようとした際、紳士は『貴重な意見をありがとう、妻に伝えておくよ』と微笑んで走り去った。若者はその時、ようやく自分を車に乗せてくれたのが、王配殿下(女王陛下の配偶者)であったことに気づいた…」

以前聞いた小話です。いわゆる「都市伝説」ではないかと思いつつ、さもありませんと思わせるオープンさ、国民との距離の近さがデンマークの王室にはあるようです。

今年4月16日はマルグレーテ二世女王陛下の70歳の誕生日でした。毎年この日は、アメリエンボー宮殿前広場に市民が集まり、バルコニーに出てくるロイヤル・ファミリーを迎えます。今年は70歳という節目の年でもあり、お誕生日に先駆けて大々的な祝賀イベントが開かれるなど、お祝いムードが盛り上がりました。

当日、女王陛下は宮殿で国民の祝賀に応えた後、馬車で街中を抜けて市庁舎に向かい、セレモニーに出席というご予定。この一大イベントを見逃す手はないと、私も宮殿に繰り出しました。

念のためかなり早めに宮殿付近に到着したのに、広場は詰め掛けた人々で既にいっぱい、一面の国旗と人の波で、バルコニーが見える位置までたどり着けそうにありません。そこで作戦を変更し、馬車が通る道筋に陣取りました。その間も続々と詰め掛ける人の多さ(と背の高さ!)に、好ポジションを維持するのはなかなか大変でした。

騎馬隊に先導された馬車が目の前を駆け抜けていったのはわずか数秒間、それでもこやかに手を振る女王陛下・王配殿下の姿を見ることができ、すっかり満足して、いろいろな場所に飾られた国旗を探しながら帰路に着きました。

この前日も、国営放送が祝賀イベントの様子を延々と生

中継をしているさまに驚きましたが、お誕生日を祝う人の波に混じってみて、改めてデンマーク人の王室、特に女王陛下に対する親愛の念を実感することができました。

同時に、日本人の感覚からして「あり得ない」という驚きもありました。女王陛下・王配殿下の馬車はいわばオープンカー状態、警備員が周囲を併走しているとはいえ、歩道に何か障壁が設けられるでもなく、手が届きそうな距離を走っていかれます。そういえばIOC総会の時も、女王陛下が宮殿から運河の対岸に位置するオペラハウスに向かう際、一般の人々が遠巻きにする中、車から降りてすたすた歩いてボートに乗り込む姿をテレビで見て、あまりの警備の薄さに驚いたことを思い出しました。

国民の親愛の念と王室存続への高い支持あつてのことか、それとも国民に対する王室の信頼を示すためにあえてそうしていらっしゃるのか。人によってさまざまな見方がありますが、いかにもデンマークらしい良い風景だと思いました。

※Tillyke = おめでとう。デイジーは女王陛下の愛称。

